昭和 41 年7月22日　第三種郵便物認可　あきつ　令和元年 10月15日発行（年4回　1・4・7・10月発行）第623号

あきつ

2019年10月15日発行
第　623 号
発　行 / 社会福祉法人　天童会 飯野順子

7/20

「創立記念式典」に寄せて

理事長　飯野順子

創立記念式は、創立者の足跡やことばに触れて、原点回帰する時です。「あの子供たちに楽園をつくろう！」が受け継ぐべきことばです。

当時、「建物や土地を探すこと、保護を受けるために該当する法律があるのか、差し当たり資金の手当てをどうするのか、考えなければならないこと、調査しなければならないことは山ほどあった」中で、施設づくりに一念発起した創始者草野熊吉理事長の開拓精神とその勇姿に、励まされます。

記念式では、「春はあけぼの」の絵本を映像化し、群読で日本語の美しさやリズムに触れる機会を、園生へのプレゼントにしました。その試みは、日常の生活空間から切り離された「時」と「空間」の中で、「静けさ」を味わい、「聴くこと」によって、胸に響く言葉の美しさとリズムを味わってほしいと思ったからです。それは、次の詩の真髄がヒントです。（中略箇所があります）

ある日、早春の、雨のむこうに、真っ白に咲きこぼれる。コブシの花々を目にした。そして、早春の、雨のむこうに、真っ白に咲きこぼれる、コブシの花々の声を聴いた。

見ることは、聴くことである。

何もないは浜辺で、何もしない時間を手に、波の光が運ぶ海の声を聴く。眺めることは、聴くことである。

聴く、という一つの動詞が、もしかしたら、人の人生のすべてなのではないのだろうか？

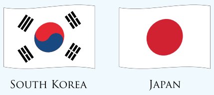
読むことは、本にのこされた 沈黙を聴くことである。無闇なことばは、人を幸福にしない。　長田弘「世界はうつくしいと」

ほとんどの園生は、「聴くこと」は得意なのです。いつも「聴いている」のです。

当日は、途中で映像が切れるなどのハプニングがありましたが、日本文化の一端に触れ、その雰囲気に浸ることが、「楽園」となるようにとの願いを込めています。

春3月になると、秋津療育園の庭にも、コブシの花々が咲きこぼれます。

笑顔いっぱいの韓国研修生



日韓施設交流

すっかりなりきっている当園職員

第25回 日韓施設交流研修

8月30日～9月5日 韓国からの研修生5名をお迎えしました。

また、9月16日～ 9月22日 当園から韓国へ4名の当園職員が行ってきました。

日韓関係について、不安な報道も多くありましたが、今年度も韓国ハンサランマウルと秋津療育園との交流研修が、無事に実施されました。

現場研修・他施設の見学の他、文化体験、美味しい食事など気持ちを込めて「おもてなし」をさせていただきました。当園からの研修生も同じように楽しい思い出を作ってきたようです。

お互いの施設の職員だけでなく、街の人々からも温かく声を掛けていただけたことがうれしかったです。

（高橋　英）

ニューヨークで活躍されているジャズギタリスト阿部大輔さんとベーシスト津川久理子さんが、日本公演の為来日された際、秋津療育園を訪ねてくださいました。

奏でられた日本のメロディーがやけに心にしみる、そんな一時を過ごすことができました。

（石川）

Jazz came from New York!
ニューヨークからjazzがやってきた

ボリジョイサーカス 2019 in 幕張メッセ

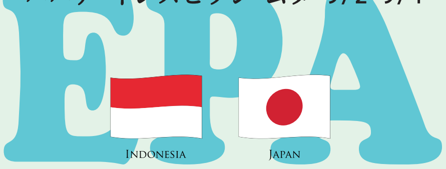
ボリジョイサーカスさんのご寄付により幕張メッセで行われたサーカスを見に行きました。

案内された席は舞台も近く、迫力あるパフォーマンスを間近で見ることが出来ました。空中でブランコからブランコへ次々に演者が飛び移り圧巻のパフォーマンスを目の前に、おもわず職員も声が出て、園生一緒に大変盛り上がりました。最後まで笑顔でたのしむことができました。

（齋藤　孝）

Bahana Inspirasi Muda 訪問

バハナ インスピラシ ムダ 9/2-9/4



インドネシアのバンドンという地域にあるバハナ・インスピラシ・ムダという学校に視察と挨拶を兼ねて行ってまいりました。

この学校では、日本語を勉強し、日本に技能実習生やEPA介護福祉士候補生を送り出しています。当園のEPA第1期生のユディとザムザムさんの母校でもあります。

学生たちが、とても和気あいあいと日本の文化や語学を勉強している様子を見ることができました。

「整理、整頓、清掃、清潔、躾」といった徹底した規律があり、素晴らしい学校でした。

（小池剣）

社会福祉法人
天童会

重症心身障害児（者）施設	秋津療育園	〒189-0002 東村山市青葉町 3-31-1	Tel.042-391-1377	Fax.042-392-5422
秋津療育園	通園センター	〒189-0002 東村山市青葉町 3-31-1	Tel.042-306-1336	Fax.042-306-0138
秋津療育園	相談支援センター	〒189-0002 東村山市青葉町 3-31-1	Tel.042-391-1345	Fax.042-391-1358
東村山市認可保育園	こひつじ園	〒189-0002 東村山市青葉町 3-9-33	Tel.042-394-9628	Fax.042-394-9628

特集 はたらくひと 働く人 その2 栄養管理室 えいようかんりしつで働く職員さん

今回は栄養管理室におじゃましました。園内の食事は全て栄養管理室で作られています。どのようにして作られているのか？職員さんに聞きました。

職員数と勤務時間を教えてください。

栄養管理室長	1名	栄養士	4名
課長	1名	調理師	12名
管理栄養士	2名	炊事手	1名

21名が、シフト制で勤務しています。

早番	5時00分～14時15分
日勤	8時15分～17時15分
遅番	9時15分～18時15分

早番の方は早くから働いているんですねぇ。

栄養管理室の皆さん
早番は始発電車で出勤する職員もいます。
美味しい食事を提供するための努力と研究を惜しみません。

主な仕事内容はなんですか？

料理・配膳と下膳・衛生管理・機器器具の管理・メニューの考案・材料の発注と管理・食費の管理・栄養管理を行っています。

1日に作る食事の内訳はどんな物がありますか？

内訳は次の通りです。それぞれ別のメニューをつくっています。1つのメニューの中でも常食のかたや、軟菜食・すりつぶしなど、園生さん一人ひとりの食事形態があり、主食や栄養量もそれぞれ違うんですよ。食事形態の表もご覧ください。

	朝	昼	夕
患者食	175名	175名（経管栄養食を含む）	175名
経管栄養食	食品18名　薬品42名	食品31名　薬品18名	食品20名　薬品33名
職員食	5名	120名	10名
通園食		11名	
託児所食	午前 おやつ	昼 14名	午後 おやつ

食事形態	常食・軟菜食・すりつぶし食・特すり食
主食種類	ご飯・粥・ペースト粥・パン・パン粥
食事段階	8段階の栄養量
その他	濃厚流動食（食品・薬品）
栄養補給食品	たんぱく強化食品・貧血予防食品など

わぁ！すごい。1回の食事で形態と主食と栄養量の組み合わせだけで、何通りもあるのねぇ。

託児所の子供たちの昼食や、通園の利用者さんたちの昼食・私達職員の昼食も栄養管理室で作っているんだね。

工夫していることや、気を付けていることはなんですか？

園生さんが食べたいメニューを食べやすいように、食事形態に合わせて調理しています。形態ごとに材料や調理法を替えて、見た目にも楽しんでもらえるように盛り付けをしています。デザートは乳脂肪分を控えて、カロリー調整をし、軟らかく仕上がるようにしています。

一人ひとりの食事にたくさんの工夫や注意点があるんですね。

はい。食事に時間がかかる園生さんにも、時間経過で状態が変わらないように、食事作りを心がけています。ペースト食は見た目が同じようになりがちなので、盛り付けを工夫して楽しんでもらえるようにしています。

調理法や栄養量などもそれぞれに合わせたものになっているんだなぁ。

食事内容の移り変わりはありますか？

園生さんの高齢化に伴い、食事形態がペースト状へと移行する方が増えました。また食べる量も減ってきています。食べれなくなった分、グラム当たりのエネルギー量を増やす必要があります。

栄養管理室では毎日の食事の他にも、行事食や祝い膳・クリスマスケーキなども作っているのよ、紹介するわね。

季節行事食	月2回、季節の食材や行事に合わせた献立を作ります
ナイター配膳	和室で盛り付けを実演します家庭的な雰囲気を味わってもらいます
世界の家庭料理	月ごとに世界各国の家庭料理の献立を作ります
古希・還暦祝膳	60歳・70歳のお祝いに
クリスマス	ホールケーキを作ります
デザートバイキング	デザート・和菓子を18種類作成し、お好きなものを選んで頂きます
昼食バイキング	主食・主菜・副菜・汁物・デザートを17種類作成し、お好きなものを選んで頂きます

わぁ！たくさんの行事食があるんだなぁ。

バイキングのデザートの例
この中から好きなものをチョイスできます

材料の仕入れなどはどうしていますか？

食材の納入業者さん（お魚屋さん・お肉屋さん・八百屋さん・パン屋さんなど）は、とても古くからお世話になっています。細かな注文、要望にも対応していただいています。秋津療育園が経済的にも厳しかった時代から支えてくださり、園生にご寄付を頂くこともあります。とても感謝しております。

見えないところでも支えてくれる人たちがいるのね。

メニュー作りはどうしていますか？

食事形態の変化もありますが、同じものばかりでは飽きてしまうので、新しいメニューを開発しています。

時間の合間を見つけては、新メニューを開発しています。

園生さんの喜んでくれる顔を想像しながらの試作は楽しいです。

園生さんに対して思うことや、将来について聞かせてください

園生さんの様態に合わせ、料理教室などの行事も参加型から見学型へ移行しつつあります。園生さんの負担が大きくならないように、食事は工夫が必要になってきました。私たちは、食事を心待ちにしている園生さんの「おいしい」の笑顔を見られる時が至福の時です。食事を通じて、園生さんに何ができるか？を常に考えながら、健康で安全な食事を作り、栄養管理を心がけております。

園生さんとの触れ合う場を大切にし、食事を通じて良い関係を築いていきたいと思います。

普段は何気なく食べている食事にも、たくさんの思いや工夫がされていることが分かったね。

そうね。作る人への思いや、食材にも感謝することを知ることができて良かった。それでは今日も「いただきまーす。」

この記事に関するお問合せやご意見は jimukyoku@tenndoukai.net まで。

納涼会

1棟では、川越の氷川神社のお祭りをイメージした納涼会を開催しました。
氷川神社名物「めで鯛釣り」を楽しみ、最後は盆踊りと職員によるソーラン節で盛り上り、沢山の笑顔でしめくくりました。（高橋　千）

2棟の納涼会では、所沢市を中心に女性だけで御輿を担ぐ“彩女會(あやめかい)”の方々に参加して頂き、太鼓の披露や盆踊り、御輿を担いでもらうなど盛大な納涼会となりました（富澤）

3棟の納涼会は大会議室で行われました。
園生は浴衣や甚平を着て、参加しました。
園生はクイズ大会に参加したり、ソーラン節を見て、楽しそうでした。おやつに綿あめを貰って、食べました。盆踊りを職員と一緒に踊り、終始笑顔で楽しい納涼会を過ごしていました。（佐々木）

4棟では、金魚すくい、ピンボール、空気包と3種類の出店を思い思いに楽しみました。
また、花火の映像を見たり、綿菓子を食べたりと皆で浴衣や甚平を着て、お祭りの雰囲気を楽しんでいました。（石田）

リハビリテーション室 リハ便り

昨年よりこぶし学級を卒業した30歳までの園生を対象に「欅大学」という大学活動を行っています。毎年専攻科目を決め、病棟、療育サービス課、リハビリテーション室の職員が共同して手作りの授業を月1回のペースで行っています。

昨年度は「音楽」をテーマに活動を行いました。自分の力で鳴らせる楽器を選んで仲間に演奏を披露したり、学生ひとりひとりが選んだ言葉をつないで大学テーマソングの歌詞を作ったり、世界の民族音楽を聴いて自分の好みの音楽を発見するなどの授業を行ってきました。

集団ならではの活動で、日中や個別訓練ではなかなか見られない表情や表現を見せてくれています。

活動を通して、仲間に自分を表現する力、仲間を思いやる気持ち、集団での決まりを守ることなどの個々の成長を見守っていきたいと思います。

今年から2棟・4棟合同の大学活動が始まり、9月に入学式が終了しました。本年度のテーマは「芸術」です。どんな芸術が開花するのか今から楽しみです。どなたでも見学できますので、興味がある方は気軽にお声掛けください。

通園センター DAY NEWS

9月11日大会議室にて納涼会を行いました。

今年度は「お化け屋敷」と「パラシュート」をお楽しみに用意しました。お化け屋敷は、おばけに変装できるアプリで写真を撮ったり、ブラックライトで怪しく光る火の玉や風船のおばけのコーナーを通り、スポンジやイガイガボールが入ってるお化けの口に恐る恐る手を入れて楽しみました。

また、音響や暗さの雰囲気でバクバクする利用者さんも見受けられました。

パラシュートは、活動時間に個々に帆の色を決め絵を描いたり貼って作ったパラシュートを飛ばしました。A・Bの景品エリアを用意し、どちらの景品が良いか欲しいもの決めてから、狙って飛ばしました。

利用者さんに発射台を握ってもらったり、パラシュートを一緒に持って引っ張ったりと一緒に飛ばすという体験を楽しみました。

今年も沢山のご家族が参加され、楽しかったとの声が聞かれました。

来年もより楽しいものを提供していきたいと思います。（松崎）

秋津アーカイブス

古い写真や文献の中から、もう一度見ておきたい、読んでおきたいものを掲載します。

秋津療育園に行って

恵泉女学園 昭和61年度奉仕委員会 2B J・K
（昭和61年発行「あきつ」254号より）

毎年クリスマス奉仕でおむつを送っているにもかかわらず、私は秋津療育園について何も知りませんでした。というよりも誤解をしていたと言った方が良いかも知れません。

どのように誤解していたかと言うと、以前ある智恵おくれの子たちの施設に行ったことのある私はそこで大きなショックを受けたのですが、秋津療育園でさらに大きなショックを受けたのです。

その以前行った施設の子たちは、みんな毎日四キロの散歩をします。夏にはプールにも入ります。私は秋津もそういうところだろうと思いこんでいたのです。みんながそれぞれに施設の中であちらこちらに動き回って遊んでいる様子を想像していました。

ところが、案内されて入ってみると、そこはどちらかというと病院のようでした。ベッドがいくつかあって寝たっきりの方もいらっしゃいますし、ベッドには寝ていらっしゃらなくても、一定の姿勢でしかいられない方もいらっしゃいました。他の所に行くと、はって動くとか自分で歩ける方もいらっしゃいました。

以前行った施設では、おやつをいっしょに食べたり、いっしょにお散歩に行ったりすることができたので、案内される前までは、なにかいっしょにできることがあるのではないかと思っていましたが、見学しながら、今の私にはこの人たちに何もしてあげることができないなぁと思いました。

見学ののち、おむつぬいをさせていただきましたが、私は裁縫が苦手で少ししかできませんでした。自分の無力さに悲しくなりました。

帰り道、ほんとうに今の私には何もできないのだろうかと考えてみました。そうしたら一つ大事な事がみつかりました。秋津の事を多くの人に知ってもらうことです。本当は世界中の人が秋津のような施設を見て考えなければならないと思いますが、そう言う施設の存在さえしらない人もいます。

また知っていても私のように誤解している人もいるかもしれません。今の私にできることは、できるだけ多くの人に秋津のことを話しそして知ってもらう事だということに気づきました。

今の私にこれしかできませんが、できるだけ心がけて行きたいと思っています。秋津に来ていろんな事を考えさせられました。私にとってとてもいい経験だったと思います。

一人でも多くの人にここの事を知ってほしいと思います。それは特別なことではなく人間が生きてゆく上で知らなければならない事だと思うのです。

＊現在と表現方法が異なる部分がありますが、原文のまま掲載しました

ご寄付

村田成子様、今井和之様、宮地幸子様、富永孝子様、岡田生樹様、小林正幸様、山本鐵子様、緒方謙二郎様、玉井芳子様、牧田勢津子様、佐藤悦子様、篠厚子様、溝口明子様、東京第三友の会秋山佳子様、慶應義塾女子高等学校此川しずか様、四方悦子様、さいたま市立高等看護学校の皆様、天理教婦人会東本大教会の皆様、武蔵野友の会様、榎本造園土木様、東京清涼飲料水工業組合様、美容恵の会様、社会福祉法人一粒会様　皆様方の温かい御支援と御協力に、心より厚く御礼申し上げます。　社会福祉法人　天童会

編集後記

台風の被害にあわれた方々に心からお見舞い申し上げます。早くの回復を願っております。

さて、アジア初の開催となる、ラグビーワールドカップが日本各地で熱い戦いを繰り広げています。参加国の国歌をみんなで歌い、参加国をリスペクトしています。そして、ラグビー用語で試合終了を告げる「ノーサイド」。試合終了後は敵味方などと言う区別はなくなり、お互いの健闘をたたえ合う姿はすがすがしいです。ラガーマンの様に、世界中が尊重し合える世の中になると良いですね。　（池田 雄）

あきつ　第 623 号
E-mail : jimukyoku@tendoukai.net
HP : http://www.tendoukai.jp
発行人 / 飯 野 順 子
発　行 / 年4回 1・4・7・10 月発行